

1 南中野地区 8 新山通町会

歴代会長

初代	飯田 富士	1956	- 6か月	七代	野上 和夫	1982	- 10年
二代	福川 辰之丞	1957	- 1年	八代	加藤 京一	1992	- 4年
三代	田村 由三	1958	- 3年	九代	佐藤 謹吾	1996	- 6年
四代	阿佐 基一	1961	- 10年	十代	荒井 良成	2002	- 6年
五代	土屋 茂	1971	- 8年	十一代	渋谷 昇	2008	- 4年
六代	川井 勝重	1979	- 3年	十二代	山本 隆良	2021	- 現在

町会のあゆみ

- 1956年 新山通一丁目町会は飯田富士氏を町会長に選出し再生する。
- 1952年 町会復活の声から4年の歳月と在任6か月の謎を秘めた新生町会は、同年町民館を新築する。東京五輪前の好景気と、都心へ近い地の利に商店等の住環境を整えながら日々変貌した。町会と商店会は車の両輪で町の活性化に努め町会員は820世帯に及ぶ。1972年町民館を木造2階建に改築する。
- 1984年 町民館敷地の購入寄付事業を展開する。
- 1992年 町民館は地方自治法の規定する地縁団体の認可を受け、新山通町会事務所となる。
- 1995年 被災の悲運に遭うも翌1996年再建を果たす。(地下1階地上2階鉄筋コンクリート造)不況を目前に資金調達に奔走した先人の苦労が町会活動の起点として現存する。当然ながら町会長は商店会有力者が務めた。商店会の盛況は町会の活性化を助長したがバブルの混乱は大店の主、企業経営者に及び商店会は活力を失い町会は大きな転機を迎える。活動を支えたのは女性役員、時の要請に応えた。しがらみのない町会員の活動参加が町会を変える。歴代町会長名を掲額し、事業は実利を優先する。区の加入促進助成は事業部改革を誘発し、2015年町会規約を改正する。助成は新規加入者増員に寄与するも退会者を引き留めにより有効な施策であった。
- 2016年 創立60周年の慶事に新山神輿を新造し事業賛同者を顕彰掲額する。年号は令和に、町内初タワーマンション竣工と同時にコロナの蔓延は人間性おも蝕む。
- 2020年~ 4年間コロナに翻弄されるも、掲示板設置、防災広場アスファルト舗装、街頭防犯カメラ設置。
- 2022年 区の地域活性化助成 PC モニター、町会ウェア購入。
- 2023年 都の関東大震災100年助成での非常電源購入等々町の防災力、防犯力が一段と強化された。又、新山会館は区の助成を得て26年間の綻びから新生する。
- 2024年 4年の疫病退散祈願の神事に耐えた新山神輿は晴れて宮入を果たし祭りは完全復活する。

これからの町会

町会員599/1475世帯を背負う町会、改善の見通しは全く暗い。町をいとおしむ人、先人の志を繋ぐ人が希少な里心を束ねて町を守る、篤志の館新山会館、新山神輿、おたがい様の町新山は、感謝と奉仕の心が渦巻く町、生きがい溢れる町であり続ける。今や、人生100年時代、100年を生きるシナリオは生きがい司る。筋立ては如何様にもあなたの思いに寄り添う町です。人恋しくてお喋りで祭りが好きでお人よし、そんな町です新山は。

